

精神看護学実習 I 課題 I

課題提出期限
5月14日【必着】

| | | | | |
|------|--|-----------|----------|-----------|
| 学籍番号 | | 結果 | 点 | () 合格 |
| 氏名 | | | | ※60点未満再提出 |

【設問 1】神経系の分類について () 内に適切な語句を記載しなさい。

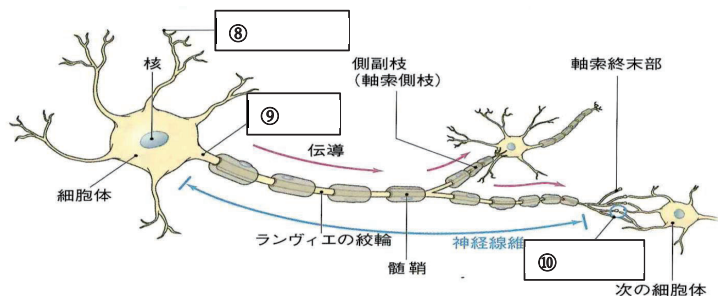
1) 構造に基づく分類

- ・神経系はその構造から (①) (②) に分けることができる。
- ・中枢神経は、(③) と (④) から構成される。

2) 神経組織の構造と機能

- ・神経組織には 2 種類の細胞があり、ひとつは (⑤) と呼ばれ神経インパルスを伝導している。
- ・もう一つの細胞は、(⑥) と呼ばれニューロンを支持・保護している。ニューロンと異なり (⑦) を有する。

3) ニューロン (神経細胞) の機能



4) 上の図の⑧～⑩を記入したうえで、神経伝達物質について説明しなさい。

5) 神経伝達物質の種類を 5 種類記載しなさい。

【設問 2】薬物療法

1) 抗うつ薬の作用について簡単に記載しなさい。(iPad4 巻を参照)

2) うつ病の病態について () 内に適切な語句を記載しなさい。

うつ病は、抑うつ気分、興味や意欲の低下、睡眠障害などの精神症状のみならず、疲労・倦怠感・疼痛・便秘や食欲不振などの身体症状も伴う。

その原因は、脳内の (①) や受容体などの機能障害が推定される。通常 (②) や (③) などの神経伝達物質が神経繊維のシナプス前終末から放出され次のシナプスにある (④) に結びつくことで情報が伝達される。うつ病では、不安に関与するセロトニンと意欲に関連する (⑤) が減少し、受容体の働きが弱くなっていると考えられる。

【設問 3】

1) エリクソンの発達課題論について () 内に適切な語句を記載しなさい。

エリクソンは、人の一生を人生周期 (①) としてとらえ、(②) から (③) に至るまでの心理・社会的発達の諸段階は順序を追って少しずつ発達していくという (④) を主張した。(①) において、8 つの (⑤) と各段階における (⑥) を心理・社会的 (⑦) として 2 つの対立概念で示した。

青年期の段階が細分化されているが、これはエリクソンが幼少期におけるパーソナリティーの発達を中核に据えて、(⑤) を設定したと見ることができる。

各 (⑤) における対立する心理・社会的 (⑧) をいかに克服していくかが、その人の (⑨) 形成に深くかかわってくるという。また、対立する心理・社会的 (⑦) を乗り越えた時、基本的な強さが人格に備わるという。私たちが社会的に生きていくために必要不可欠な心理・社会的な能力で、自我の力とも言われるものが (⑩) である。

2) 希死念慮と自殺念慮について説明しなさい。

【設問4】以下の設問について記載しなさい。

1) ヒストリーを読むとは

2) 患者と看護師の治療的環境とは

3) 家族の患者本人に対する感情表出 (EE)、高 EE と低 EE について

【設問5】次の事例を読み1)~5) について答えなさい。

A 氏 (19 歳・女性) は、待望の娘であり、会社員の父親と専業主婦の母親の期待を担い大事に育てられてきた。高校卒業まで学業中心の日々を過ごし、生活も含め常に母親の全面的なサポートを受けていた。

大学進学を機に初めての一人暮らしを始めることとなった。自分なりに工夫しながら大学生活を送っていたが一人で全て決めないといけないことに疲労感が強くなり、2 か月過ぎた頃 (6 月) より閉じこもりがちになった。母親も心配して 1 週間に 2 回ほど様子を見に来ていた。ある日訪問すると布団の中で全く動こうとしない A 氏を発見し、救急車を呼び精神科病院受診。診察後うつ状態の回復と休養の目的で任意入院となる。

入院後、薬物療法 (SSRI・フルボキサミン錠、クロチアゼパム錠) と精神療法 (認知行動療法) 開始、入院 3 週間後の現在は、「死にたい気持ちはありません」「こんな私、お父さんに嫌われる」「周囲からどんどん取り残されていく」「自分がこれからどうしていけばいいのか、考えるとしんどくなる」という発言がみられる。日常生活は、声をかければ入浴や更衣ができ、食事も食堂で摂取できている。作業療法 2 回/週参加している。

1) A 氏の現在の発達段階 (エリクソン) と発達課題 (説明も) について記載し、A 氏の入院までの心理状態についてアセスメントを記載しなさい。

- ・発達段階:
- ・発達課題:

・アセスメント (キーワード: 混乱・自己同一性の拡散・危機状況を含めて記載しなさい。)

2) A 氏は任意入院です。精神保健福祉法で定められている 5 つの入院形態を記載しなさい。

3) うつ病の患者に対して「励まし」はよくないといわれているが、その理由を記載しなさい。

4) A 氏はセルフケアが少しずつ回復している。今後はどうなると予測されるか記載しなさい。

5) A 氏の家族から「A はどうしてこんなことになったのか、これからどうなるのか」と困惑した様子である。受け持ち看護師として、どう対応するのか記載しなさい。